

私たちには、どのような地域の活動やボランティアができるのでしょうか。

知っ
て
おこ
う

避難所や地域では、このような活動が行われました。

避難所では



避難所での水の運搬



避難所の掃除

地域では



地域の人と植樹に参加



お年寄りとの交流

少しでも、みんなの役に
立てたらうれしいね。



話
み
よう

私たちは、大きな災害を経験して、ふだんから地域の人たちとのつながりを大切にしないといけないことを学びました。

地域とのつながりをどうやって深めるか、また自分たちにできる身近なボランティアについて話し合ってみましょう。



地域の伝統芸能に参加

わたし 私たち
街の美化、私たちが率先

山元町山下二小(児童104人)の6年生15人が20日、総合学習の時間を活用して東日本大震災の被災者が暮らす仮設住宅周辺などを清掃した。児童は一緒に学ぶ山下二小から通学路をたどり、浅生原東田・内手仮設住宅や町役場まで約2.5キロの道のりを歩いて作業。空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻などを次々と拾ってごみ袋に入れた。6年生のほとんどが同仮設で暮らし、日ごろからごみの多さが目に付いたという。企画書作成を担当した嶋田志帆さん(11)と渡辺志乃さん(12)は「地域をきれいにして住民を元気にしたかった。大人はゴミ捨てをやめてほしい」と声をそろえた。児童の活動を見守った住民の主婦萩原友美さん(34)は「街の美化に子どもたちが積極的に動いてくれてうれしい。次は大人が気をつける番ですね」と喜んだ。

通学路や仮設周辺を清掃



仮設住宅の敷地内のごみを拾う児童

2013年6月26日付 河北新報記事 (提供:河北新報社)